

科目	単位	時間	履修学年	講師名
老年看護演習	1	30	2	専任教員(公益社団法人 地域医療振興協会に委託)
ねらい	老年期にある対象の健康問題に対して、模擬患者の看護計画を作成し、看護の実際を体験する			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 看護過程の展開 1) 事例紹介：大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術（術後1日目） 2) 情報の整理	講義・個人ワーク		
2回目	3) 情報の分析・解釈	講義・個人ワーク		
3回目		講義・個人ワーク		
4回目		講義・個人ワーク		
5回目	4) 関連図、問題リスト ・問題点と関連因子について	講義・個人ワーク		
6回目	・優先順位について	講義・個人ワーク		
7回目	5) 看護計画 ・目標の設定	講義・個人ワーク		
8回目	・具体策の立案	講義・個人ワーク		
9回目	6) 看護計画の発表	発表		
10回目	看護過程の展開まとめ			
11回目	2. 日常生活援助の実際	グループワーク（実習室）		
12回目	1) 離床のすすめ方（危険肢位の予防）	グループワーク（実習室）		
13回目	2) 体位を考えた移動・清潔・排泄の援助	グループワーク（実習室）		
14回目		グループワーク（実習室）		
14.5回目 (45分)	まとめ	講義		
15回目 (45分)	終講試験	試験		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学（医学書院）			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験 : 50点（1時間【45分】）</li> <li>・看護過程 : 50点</li> </ul>			
備考	<p>看護過程の展開について、復習して臨んでください。</p> <p>解剖生理の知識、加齢による身体的変化の特徴や、リハビリテーション期に必要な看護など、様々な既習知識を活用し、看護過程の展開と対象に合わせた日常生活援助の技術演習を行います。領域別実習に向けて、主体的に学習していきましょう。</p>			